

老舗名	有便堂 E組 6班
Q.1	一番売れている商品は何ですか。
A.1	年末～年始に掛けては、和小物。40～50年前製作の岩絵具。
Q.2	今と昔で売っている商品に変わりがありますか。
A.2	小物に関しては風合(原料の)が少し違います。岩絵具は近年製作のものは、安全、安心な材料を使う為、今では製作できない色があります。
Q.3	外国の方は来ますか。何が人気ですか。外国の人に向けてのPRに工夫はありますか。
A.3	西洋の方は色に関しては見慣れていますので、東洋の美、白と黒の世界に魅了されており、和紙、墨、筆を買い求めて行かれます。日本らしい紐で綴じられた和綴じ本と朱印帖が人気です。
Q.4	手紙を書く人が減ってきていますが、便箋や封筒は昔と比べて売り上げに変化はありますか。
A.4	我が店においては、若い人が年配の方に直筆で葉書か手紙を出すと大変喜んで戴けるとの事で、定期的に葉書や便箋が売れています。
Q.5	便箋や封筒のオリジナルの日本橋の絵は誰が考えたものですか。
A.5	15年程前に、若い「書」、「絵」が得意な社員が考えました。
Q.6	動物の体の部位によって毛の質は変わりますか。
A.6	顔、首、腹、尾に違いがあり、食べ物の影響も若干あります。
Q.7	書道用と絵を描く用の筆では使っている動物の毛は違いますか。
A.7	主に書道と絵画用の天然毛を使用した筆は、用途により毛も造りも違います。毛は部位によりそれぞれ生かした作り方をします。
Q.8	岩絵具は誰がどうやって使うものですか。
A.8	立体感を必要とする作品で生かされます。
Q.9	額装、軸装はどの年代からの注文が多いですか。
A.9	展覧会への出品等、進物で幼稚園や学校関係など。年配者が多いです。
Q.10	どの季節に和紙が一番売れますか。
A.10	特に雪が解けた水で漉く冬が一番良いと思います。
Q.11	季節によって商品の売り方や扱いは変えていますか。
A.11	日本の四季を生かし展開させている。